

1. 基本情報				
ふりがな	ふじわら たけし			
氏名	藤原 岳史			
所属	株式会社NOTE			
役職	代表取締役			
活動エリア	全国			
連絡先	住所	〒	669-2331 兵庫県丹波篠山市二階町18-1	
	電話番号		050-6877-6141	
	メールアドレス		<a href="mailto:satoyama@plus-note.jp">satoyama@plus-note.jp</a>	
キャッチコピー	なつかしくて、あたらしい、日本の暮らしをつくる。			
自己PR	1974年、兵庫県丹波篠山市出身。外食企業勤務、アメリカのIT企業でのインターン経験後、国内のIT企業勤務を数社経て上場を経験。その後、故郷の活性化に取り組みたいという思いが強まりUターン。2010年に一般社団法人ノオトの理事に就任し古民家活用事業に着手、2016年5月に株式会社NOTEを設立し代表取締役に就任。地域の暮らし文化を次世代に繋げることを目的としたまちづくり開発事業NIPPONIAを全国で展開。			
関連ホームページ	名称		アドレス	
	株式会社NOTE 会社概要		<a href="https://team.nipponia.or.jp/note-inc/">https://team.nipponia.or.jp/note-inc/</a>	
	一般社団法人ノオト 会社概要		<a href="https://team.nipponia.or.jp/note-institute/">https://team.nipponia.or.jp/note-institute/</a>	
	NIPPONIA事業の実績		<a href="https://team.nipponia.or.jp/areas/">https://team.nipponia.or.jp/areas/</a>	
2. 略歴・受賞歴				
略歴・受賞歴	<p>兵庫県丹波篠山市出身</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成28年度 株式会社NOTE 設立 代表取締役就任</li> <li>◆平成22年度 一般社団法人ノオト 代表理事就任</li> </ul> <p>受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆令和5年度 不動産協会 不動産協会賞受賞</li> <li>◆令和4年度 総務大臣賞 ふるさとづくり大賞受賞</li> <li>◆令和4年度 函館市建築部門 都市景観賞受賞</li> <li>◆令和3年度 兵庫県 人間サイズのまちづくり賞受賞</li> <li>◆平成28年度 国土交通省 第8回観光長官表彰受賞</li> </ul>			
3. 取組分野				
● 観光	(地域資源を活用した観光まちづくり)			
● 移住・定住・関係人口	( )			
● 農林水産業	( )			
● 起業支援	( )			
● まちなか再生	(歴史的建造物群の利活用、地域資源を活かしたエリアビジョン事業計画策定)			
● 集落再生	(農村集落における空き家の利活用、宿泊施設の地域運営支援)			
● 環境	( )			
● その他	( )			
4. ふるさと財団での実績				
外部専門家 (活用助成)	( )			

## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 集落丸山プロジェクト  (2)対象地 : 兵庫県 丹波篠山市  (3)事業目的: 農村集落の空き家利活用、宿泊施設の持続的な地域運営</p> <p>(4)事業内容:  12軒中7軒が空き家の集落の存続のため、関係人口の創出を目的に、集落の空き家を改修し、宿泊施設として再生する事業計画と事業体制を構築。集落住民で構成されたNPOと一般社団法人ノオトで有限責任組合を設立し、NPOが現地の業務を担い、ノオトが古民家改修・資金調達・PR・経理などの業務を担う。</p> <p>(5)事業による成果:  空き家7軒中3棟を改修し、宿泊施設として2009年に開業。集落の負担にならない稼働率30%で黒字を達成し、安定した地域運営を10年以上継続している。宿泊運営を通して関係人口が増え、Uターン・Iターンのきっかけ作りとなった。また、関係人口の創出により集落内の耕作放棄地が完全に解消された。宿泊棟1棟は所有者の方がターンされ、現在は宿泊施設を2棟で運営している。今後は集落が自立できるような運営体制を目指している。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 篠山城下町ホテルNIPPONIA  (2)対象地 : 兵庫県 丹波篠山市  (3)事業目的: 城下町の遊休化した歴史的建造物の利活用、まちの活性化</p> <p>(4)事業内容:  城下町に点在していた歴史的建造物、名士の家等の建物を活用し、城下町の活性化を目的に地域のまちづくり開発会社を設立。地域主体による事業計画を策定、民間から資金調達し、プロジェクトマネジメントを行う。改修した建物を活用する事業者の誘致活動を行い、マーケティングやPR活動も実施。</p> <p>(5)事業による成果:  2015年に宿泊施設として「篠山城下町ホテルNIPPONIA」を開業。昔ながらの趣をそのままに改修し、当時国内でも珍しかった町中に客室が点在する「分散型ホテル」として再生した。地域に開発主体を置くことで、地域の状況に合わせて開発する機能や棟数などの条件に合わせて最適な事業スキームを柔軟に組み立てることができ、面的で継続的なまちづくり開発を可能にした。点在する空き家を活用し、客室棟の増室、店舗、オフィスなど、段階的に開発が進んでいる。4棟10室から始まった「篠山城下町ホテルNIPPONIA」は、現在7棟19室まで拡大。レストランやショップなどのお店は、9店舗から13店舗に増えている。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : エリアビジョン事業計画策定  (2)対象地 : 千葉県 銚子市  (3)事業目的: 銚子市ふるさと再生事業の支援</p> <p>(4)事業内容:  地域資源の分析に基づいたエリア特性・現状課題の整理、銚子の歴史や風土等、多様な要素の分析を通じたランドスケープデザインも行いながら、観光まちづくりを軸にした地域戦略の立案、エリアビジョンの策定を実施した。</p> <p>(5)事業による成果:  銚子市では、「関係人口」を創出するため、地域資源を活用して体験や学びを含めた交流拠点施設を中心市街地に整備することを検討しており、その整備と併せて中心市街地のポテンシャルを見える化し、官民が協力して目指すまちの方向性を明確にした。中心市街地の賑わい創出、持続的な発展に向けた方針(エリアビジョン)を策定したことをきっかけに、地域内外のヒトや企業が銚子市中央地区エリアを基点に関わり、銚子市全域の活性化に繋がることを目指す。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 :  (2)対象地 :  (3)事業目的:</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>(5)事業による成果:</p>
<p>※上記以外の取組内容・実績</p>	